

## LEDで赤れんが庁舎ライトアップ あかりみらい、照明設備を寄贈



LED照明でライトアップ  
された歴史的建造物の道庁  
赤れんが庁舎

札幌の観光スポットの北海道庁赤れんが庁舎が、LED（発光ダイオード）でライトアップされた。LED照明機器を販売している「あかりみらい」（札幌市）がLED照明投光器の500 $\times$ 2機、200 $\times$ 2機を寄贈して据え付けた。同社の越智文雄社長は「これまでの水銀灯と比べ明るさが増し、消費電力は約7割削減でき、料金で年間18万円程度が節約できる」と説明。赤れんが庁舎の建物の頂きにそびえる八角塔にまでライトアップで映し出されている。

赤れんが庁舎は1888（明治21）年にできたネオ・バロック様式のレンガ造り。北海道産の建築資材で建てられた北海道の歴史的な文化遺産。四季それぞれに美しい姿を彩る赤れんが庁舎の景観を楽しむ観光客も少なくない。このライトアップは日没から午後9時まで行われている。